

「出会いは人を変え、人生を変える」

# 校長だより

平成31年3月7日（水）

第27号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長) 那覇西高等学校長 長濱 雅仁  
「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」 - ヘレンケラー -

” Once we share goals, we are all brothers and sisters ! ”

率先垂範：子どもは親や教師の「言う通り」にはならないが「する通り」になる。

師弟同行：価値観は言葉以上に、実行している人の姿によって伝えられる。 以上渡辺和子氏

3月1日（金） 感動の式典そして花道 第28回卒業式大成功

## 学校評議員からの声

金城 孝忠評議員：「素晴らしい卒業式でした。業績を多く残した点が感動ものです。3月14日の学校評議員会後に盛大に慰労したいと思います。」

藏根美智子評議員：「感動いたしました。素晴らしい先生方、生徒たちでした。」

神村 孝司評議員：「立派な卒業式でした。見事です。ご苦労様でした。」

多和田聡子評議員：「いい卒業式でした。参加させていただきありがとうございました。」

## ◇高い評価をいただいた点

- ①話を聞く態度が卒業生、在校生（2年）が素晴らしく緊張感もあり、とても厳粛な卒業式でした。
- ②花道が整然としかも感動的であった。在校生、保護者との別れの場にふさわしいものだった。
- ③卒業証書受け取りの態度、卒業式の歌、とてもよかった。（声が良く出ていた）
- ④多くの卒業生の保護者から子供を那覇西に預けて立派に成長してくれた。那覇西で良かった！との声が多く多くの先生方に伝えられていました。

## ◇学校行事、大会結果、イベント等

- ・1月5日に本校3期生の同窓会が開催されましたが、その時の収益金を3月15日に同窓会役員から贈呈するそうです。感謝、感謝！
- 校内外の小さな変化・成果に皆さん、気がつきませんか？
- ・高校入試が6日から始まることを受けて、5日に入試会場づくりが行われました。これまでにないほど各教室が磨かれているそうです。本校に入学してくる後輩たちは幸せですねー！
- ・2月16日（土）卒業式に向けたPTA美化作業が行われました。生徒171名、保護者18名、職員17名の参加がありました。赤嶺永哲先生、PTA渉外係の友利夏美先生本当にお疲れさまでした。
- ・3月6日（水）2年6組の特進クラスが研修旅行に出発します。東京大学、早稲田大学等のキャンパスを訪問し、「高い志」を抱く一つのきっかけづくりになることを校長として祈念しています。本校で初の試みであり、担任である金城充先生の心意気に感謝ですね。

## 30年度卒業式（30期生）と3年前の入学式

去る3月1日に卒業しました30期生の3年前の入学式において、校長は式辞の中で、『新入生の皆さん、入学おめでとう。在校生、先生方一同、心から歓迎いたします。・・・「素直な心は成長をもたらす、感謝の心は幸せをもたらす」』といます。今後素直な心と感謝の心を決して忘れることなく、万全のコンディションで日々の生活を送り続けることが、「夢実現」への道に繋がることであり、お世話いただいた中学校の恩師、保護者等の皆様の恩に報いることであるということを肝に銘じていただきたい。・・・3年後の卒業式の日にな覇西に入学してよかったと思えるよう全教職員の英知と情熱を結集していきます』と挨拶を述べたものです。

去った卒業式の式辞において「学校行事で生き生きとした姿を、部活動で躍動する姿を図書館等で自己実現に向け必死に取り組む姿を日々確認することができました。・・・忘れないでください。あの時、あの人のあの言葉でここまで頑張ることができたことを。美しく咲いた花には大地の栄養を吸収した根っこがあり、その根っこは普段見えないことを。・・・卒業生の皆さんが本校で培った生きる力を糧に、これからも弛まず夢実現に邁進することはもとより、国際人として世界の平和を希求し、幸多き人生を歩まれることを心から祈念しています。」と校長としての思いを述べさせていただきました。卒業式後の花道で多くの親御さんから「那覇西でよかったです。素晴らしい卒業式でした。」と言葉をいただき感無量であったのは、校長先生だけではなかったようです。

指導者の心に火が灯らなければ、選手の心に火は灯らない。（能代工高バスケ元監督 加藤廣志氏）